

科目	構造力学Ⅳ (Structural Mechanics Ⅳ)		
担当教員	上中 宏二郎 教授		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・必修・1単位 (学修単位Ⅰ)		
学習・教育目標	A4-S2(100%)	JABEE基準	(d),(g)
授業の概要と方針	2～4年生までに学習した構造力学の総括を行うとともに、高次不静定構造物の解法である変位法を学習する。さらに、マトリックス構造解析について学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【A4-S2】節点変位が無いラーメンの曲げモーメント図が描ける。		節点変位が無いラーメンの曲げモーメント図を理解しているかをレポートおよび中間試験により確認する。
2	【A4-S2】節点変位が有るラーメンの曲げモーメント図が描ける。		節点変位が有るラーメンの曲げモーメント図を理解しているかをレポートおよび定期試験により確認する。
3	【A4-S2】バネ系の剛性方程式や断面力を求めることができる。		バネ系の剛性方程式や断面力を求められるかをレポートおよび定期試験により確認する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85% レポート15% として評価する。100点満点中60点以上を合格とする。試験85%の内訳は、中間試験42.5%、定期試験42.5%とする。		
テキスト	「構造力学下(不静定編)」, 崎元達郎, 森北出版		
参考書	「構造力学徹底演習」, 鈴木基行, 森北出版 「構造力学Ⅱ」, 岡村宏一, 鹿島出版会 「詳解構造力学演習」, 彦坂熙, 崎山毅, 大塚久哲, 共立出版		
関連科目	数学, 物理, 構造力学(2～4年生で学習した内容)		
履修上の注意事項	1) 受講にあたり, 2～4年生までに学習した構造力学を復習しておくこと。2) 授業内容の理解には手を動かして演習することが大事。3) 配布プリントや返却課題は1つのファイルに綴じて整理し, いつでも参照できるようにしておくこと。4) 授業進行の妨げになる迷惑行為をした場合, 退場してもらうことがある。5) 教科書を持参しないと受講を遠慮してもらう場合がある。6) 授業開始5分前には受講準備を整えること。		

授業計画(構造力学Ⅳ)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	たわみ角法概要説明	材端モーメント,接線角,部材角,たわみ角について概説する.
2	荷重項(1)	荷重項の算定について学習する.
3	荷重項(2)	荷重項の算定について学習する.
4	節点変位が無いラーメンの解法(1)	節点変位が無いラーメンについて学習する.
5	節点変位が無いラーメンの解法(2)	節点変位が無いラーメンについて学習する.
6	節点変位が有るラーメンの解法(1)	節点変位が有るラーメンについて学習する.
7	節点変位が有るラーメンの解法(2)	層方程式を学び節点変位が有るラーメンについて学習する.
8	節点変位が有るラーメンの解法(3)	温度変化によるラーメンの曲げモーメントの解法について学習する.
9	節点変位が有るラーメンの解法(4)	地盤の不当沈下など支点が移動した場合のラーメンの曲げモーメントを求める.
10	中間試験	1~7回目の内容の中間試験を行う.
11	中間試験の解説,マトリクス構造解析(1)	中間試験の解答を示し,解説するとともに,マトリクス構造解析について概説する.
12	マトリクス構造解析(2)	軸力部材の剛性マトリクスの解法を学習する.
13	マトリクス構造解析(3)	軸力部材の剛性マトリクスの解法を学習する.
14	マトリクス構造解析(4)	任意方向を向く軸力部材の剛性マトリクスについて学習する.
15	定期試験の解答および構造力学のまとめ	定期試験の解答,解説を行う.また4年間の構造力学全般についてまとめる.
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する.	